

# かつぬまの報 しゅん ぽう vol.7 Spring2020

## 重要文化的景観選定に向けての取り組み

甲州市と山梨大学では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」を重要文化的景観として国に選定されるための取り組みを共同研究としておこなっています。「文化的景観」とは、地域のひとがその土地特有の自然と関わり、生活や生業を営むなかで形成された景観です。

### 文化的景観シンポジウム要旨のホームページ公開について

甲州市教育委員会文化財課では、文化的景観シンポジウム「かつぬまの美しさに、」を令和2年2月28日（金）に開催すべく、準備を進めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止といたしました。そこで、甲州市ホームページにおいて、パネラーの皆さまがシンポジウムで発表する予定でした内容を公開いたします。

■掲載予定日：令和2年4月上旬

■公開場所：甲州市ホームページ

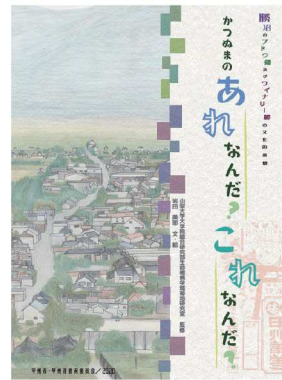


- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 菊地淑人(山梨大学准教授)        | 「勝沼らしさ」の源水 - 文化的景観の価値の受け継ぎ方・活かし方 |
| 輿水達司(山梨県立大学特任教授)     | 「伊豆半島の衝突と勝沼のブドウ栽培・ワイン文化」         |
| 小野正文(甲州市教育委員会文化財指導監) | 「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観はいつ現れたか」   |
| 小林直弘(工学院大学客員研究員)     | 「勝沼における民家について」                   |
| 上田あゆみ(工学院大学大学院2年)    |                                  |
| 岩田美耶(山梨大学4年)         | 「勝沼と歩んだ4年間」                      |
| 高橋瑞季(山梨大学4年)         | 「観光を通じて勝沼地域の魅力を繋げるために」           |

### 文化的景観調査報告書 概要版 配布!!

今年3月に、昨年度刊行した『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書』の内容をコンパクトにまとめた概要版を2種類(子ども向け/一般向け)刊行しました!

4月1日(水)より甲州市市役所文化財課、勝沼支所、大和支所にて配布を開始します。ぜひお手にとってご覧ください。



子ども向け概要版

『かつぬまのあれなんだ?これなんだ?』は、勝沼地域の今と昔をイラストで解説していく子ども向け概要版です。ぜひご家族で、勝沼地域の今と昔の違いを発見してみてください!

監修：山梨大学大学院総合研究室  
生命環境学域菊地研究室  
文・絵：岩田美耶(山梨大学)  
発行：甲州市  
甲州市教育委員会



一般向け概要版

『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書概要版』(一般向け)は、豊富な図表や写真を交えて、調査報告書の内容、文化的景観としての魅力を解説しています。甲府盆地にブドウ畑が広がるまでに、どんな歴史を歩んできたのか、ぜひご覧ください!

編集：甲州市教育委員会文化財課  
発行：甲州市・甲州市教育委員会

報告書を読むことができる市内の図書館

- 塩山図書館(塩山上塩後240)
- 勝沼図書館(勝沼町下岩崎1034-1)
- 大和図書館(大和町初鹿野1693-1)
- 甘草屋敷子ども図書館(塩山上於曾1651-7)

★貸出もできます!

『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書』  
発行：甲州市・甲州市教育委員会  
平成31年3月

文化的景観をかたちづくる特徴的なもの

1. 日川
2. 寺
3. 水車
4. 勝沼ぶどう蔵
5. 甲州街道
6. 数寄屋
7. 常光園
8. 勝沼ぶどうの丘
9. 数寄屋足跡

地域に根ざしたワイン

酒造衛生醗酵州甲

寺院を中心とするワイナリー

## 第2回甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会

2月7日(金)、第2回甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会が開かれました。この委員会は、学識経験者、各種関係団体の代表者、行政関係者で構成されています。

今回は、選定申出範囲の検討、勝沼地域の現状と課題を中心に意見を交わされました。



## 重要文化的景観に選定されるまでのプロセス

①地域の特徴をさがす(価値調査)  
☆平成30年度、調査報告書ができました

②受け継ぎ方を地域のみならず  
地域の魅力をみんなで共有する  
(普及啓発)

③範囲・重要な構成要素の決定

④市が国に申出

**重要文化的景観選定!**



## 学生2人から卒業のコメント「4年間の調査を終えて・・・」

早いもので勝沼での調査を始めて4年が経ち、卒業を迎えることとなりました。他県出身である私は就職を機に地元に戻るため、勝沼から遠く離れてしまうことを寂しく思います。ブドウ畑が広がる景色を初めて見た時の感動を、今でも覚えています。

私にとって、勝沼は第二の故郷です。調査に協力してくださった方、イベントに参加してくださった方、旬報を読んでくださった方、皆さん本当にありがとうございました。

みゃーさんと岩田美耶(山梨大学4年 令和元年度卒)

春、私たちも旅立ちの時がきました。今までありがとうございました!新天地でも勝沼の魅力が伝わるような仕事に従事したいと思いますので、よろしくお祈りします!

ズッキーこと高橋瑞季(山梨大学4年 令和元年度卒)



現地調査



散策会



勝沼地域の4小学校での地域探検ワークショップ

## 編集後記

文化的景観調査に4年間携わり、ワークショップや「かつぬま旬報」刊行など活躍して下さった山梨大学の学生から卒業のコメントをいただきました。4年間、本当にありがとうございました。

重要文化的景観選定に向けた取り組み5年目! 令和2年度も取り組みに邁進していきますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 今日の勝沼ワンポイント

### collection 7 勝沼ぶどう郷駅

中央本線開通後、勝沼地域の最寄り駅は初鹿野駅(現:甲斐大和駅)か塩山駅でした。ブドウ・ワインの出荷に不便なことから、地元の要望もあり、大正2年(1913)に勝沼駅が開業しました。



令和2年(2020)4月1日 発行

編集・発行: 甲州市教育委員会文化財課  
山梨県甲州市塩山上於首 1085 番地 1  
TEL: 0553-32-5076  
FAX: 0553-32-5172

イラスト: 岩田美耶(山梨大学)

